

シリーズ～詩編～

2015/7/12

どん底

ダビデの逃避行(サムエル記上)

- 18章 女たちの歌に腹を立てたサウル王がダビデに槍を投げる
- 19章 再び豎琴を奏でていたダビデに槍を投げる。サウルの娘であった妻ミカルの機転により難を逃れる
- 20章 サウルの息子ヨナタンによりサウル王のダビデに対する殺意が決定的であると知らされる
- 21章 敵地ペリシテのガトに逃げるも、素性がばれたため、気が狂ったふりをする
- 22章 アドラムの洞窟。彼の父や兄弟、また困窮しているものたちが集まり四百人ほどの集団になる。サウル王はダビデを助けた祭司アヒメレクの一族を皆殺しにする
- 23章 ペリシテ軍に襲われたユダの町ケイラに行き救うが、サウル王がケイラに来ると聞いて町を出てさまよう

ダビデの逃避行(23:13~15)

ダビデとその兵およそ六百人は立ち上がって、ケイラを去り、あちこちをさまよった。サウルはダビデがケイラから避難したと知らされて、出陣するのをやめた。ダビデは荒れ野のあちこちの要害にとどまり、またジフの荒れ野の山地にとどまった。サウルは絶え間なくダビデをねらったが、神は彼をサウルの手には渡されなかった。ジフの荒れ野のホレシャにとどまっていたダビデは、サウルが自分の命をねらって出陣したことを知った。

詩編31篇(拔粹)

【指揮者によつて。賛歌。ダビデの詩。】

主よ、御もとに身を寄せます。
とごしえに恥に落とすことなく
恵みの御業によつてわたしを助
けてください。

あなたの耳をわたしに傾け
急いでわたしを救い出してくだ
さい。砦の岩、城塞となつてお
救いください。

あなたはわたしの大岩、わたし
の砦。御名にふさわしく、わた
しを守り導き

隠された網に落ちたわたしを
引き出してください。

あなたはわたしの砦。

まことの神、主よ、御手にわた
しの霊をゆだねます。

わたしを贖つてください。

詩編31篇(拔粹)

わたしは空しい偶像に頼る者を憎み／主に、信頼します。慈しみをいただいて、わたしは喜び躍ります。

あなたはわたしの苦しみを御覧になり／わたしの魂の悩みを知つてくださいました。

わたしを敵の手に渡すことなく／わたしの足を／広い所に立たせてくださいました。

主よ、憐れんでください

わたしは苦しんでいます。目も、魂も、はらわたも

苦悩ゆえに衰えていきます。

命は嘆きのうちに／年月は呻きのうちに尽きていきます。

罪のゆえに力はうせ

骨は衰えていきます。

詩編31篇(拔粹)

主よ、わたしはなお、あなたに信
頼し／「あなたこそわたしの神」
と申します。

わたしにふさわしいときに、御手
をもつて／追い迫る者、敵の手か
ら助け出してください。

あなたの僕に御顔の光を注ぎ
慈しみ深く、わたしをお救いくだ
さい。

恐怖に襲われて、わたしは言いま
した／「御目の前から断たれた」
と。それでもなお、あなたに向か
うわたしの叫びを

嘆き祈るわたしの声を

あなたは聞いてくださいました。
主の慈しみに生きる人はすべて、
主を愛せよ。主は信仰ある人を
守り

傲慢な者には厳しく報いられる。
雄々しくあれ、心を強くせよ
主を待ち望む人はすべて。



主のもとに逃げ込む

主よ、御もとに身を寄せます。
とごしえに恥に落とすことなく
恵みの御業によつてわたしを助けてください。
あなたの耳をわたしに傾け
急いでわたしを救い出してください。
砦の岩、城塞となつてお救いください。
あなたはわたしの大岩、わたしの砦。

- 「御もとに身を寄せます」
 - 「非難します」:ダビデは城や洞穴に逃げ込んだのではない
 - 「砦の岩」「城塞」「大岩」「砦」
- 「恥に落とすことなく」
 - 主に信頼していると公言しているからこそ言える言葉
- 「急いで助け出して下さい」
 - 「一刻も早く」
 - 切迫した状況が表れている

御手にゆだねます

御名にふさわしく、わたしを守り導き
隠された網に落ちたわたしを引き出
してください。
あなたはわたしの砦。
まことの神、主よ、御手にわたしの霊
をゆだねます。わたしを贖ってください
い。

- 「隠れた網に落ちた」
 - 罨にかかり身動きが取れない
- 「主よ、御手にわたしの霊をゆだねます。」
 - イエス・キリストが十字架上で叫ばれた言葉
 - 「父よ、わたしの霊を御手にゆだねます。」(ルカ23:46)
 - 自ら何とかすることをあきらめて、すべてあずけます(手術台の祈り)

救われた経験を思い出す

わたしは空しい偶像に頼る者を憎み
主に、信頼します。
慈しみをいただいたいて、わたしは喜び躍ります。
あなたはわたしの苦しみを御覧になり
わたしの魂の悩みを知ってくださいました。
わたしを敵の手に渡すことなく／わたしの足
を／広い所に立たせてくださいました。

- 「空しい偶像に頼る者を憎み」
 - 主以外の神を頼ってこなかった
- 「苦しみをご覧になり、わたしの魂の悩みを知って…」
 - 救われた経験を思いだし、「喜び踊る」
- 「広い所に立たせて…」
 - 今は「狭い所」に閉じ込められているが…

嘆きのうちに尽きていく命

主よ、憐れんでください
わたしは苦しんでいます。目も、魂も、はら
わたも／苦悩ゆえに衰えていきます。
命は嘆きのうちに
年月は呻きのうちに尽きていきます。
罪のゆえに力はうせ／骨は衰えていきます。

- 「主よ、憐れんでください」
 - 再び主の「憐れみ」(ハナン)にすがって助けを求める
- 「目も、魂も、はらわたも…衰え」
 - あらゆるところが衰弱してゆく
- 「呻きのうちに尽きていきます」
 - 限られた月日が嘆きと呻きとともに過ぎていく

わたしにふさわしいときに

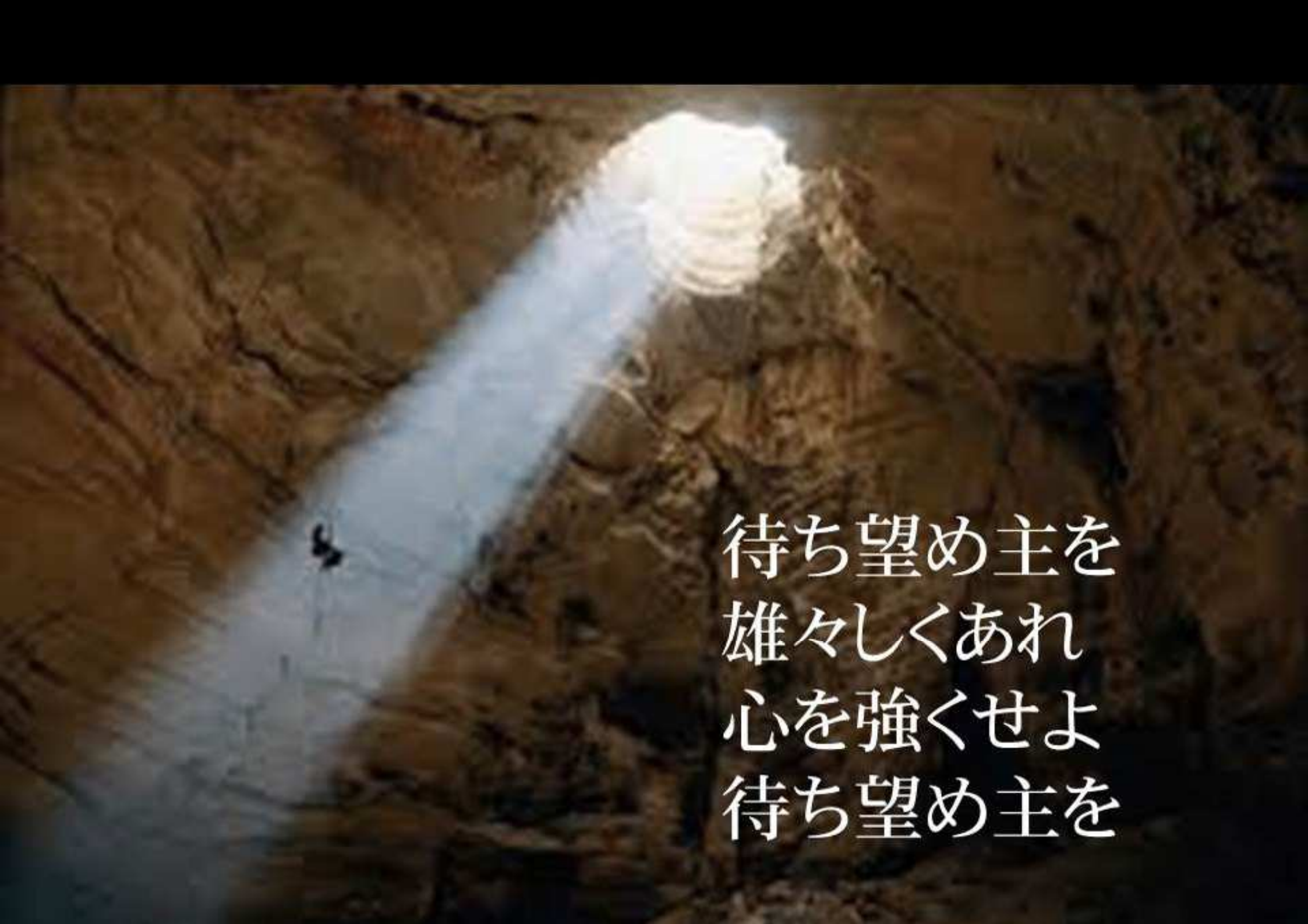
主よ、わたしはなお、あなたに信頼し
「あなたこそわたしの神」と申します。
わたしにふさわしいときに、御手をもって
追い迫る者、敵の手から助け出してください。
あなたの僕に御顔の光を注ぎ
慈しみ深く、わたしをお救いください。

- 「わたしはなお、あなたに信頼し」
 - こんな状況になっても「なお」
 - どん底から見上げる救いの光
- 「わたしに**ふさわしいときに**」
 - 「私の時は、御手の中にあります」改
 - 主はわたしにとって最善であるときに救い出して下さる
- 「御顔の光を注ぎ」
 - 主によって人生は輝く

心を強くせよ

主の慈しみに生きる人はすべて、主を愛せよ。
主は信仰ある人を守り
傲慢な者には厳しく報いられる。
雄々しくあれ、心を強くせよ
主を待ち望む人はすべて。

- 「主を愛せよ」
 - 強い命令形。これ以外に道はない
- 「雄々しくあれ、心を強くせよ」
 - 原語では両方とも「強い」の意
 - 「内なる人」=心,意志,知性,理解…
 - ふらふら,よろよろするな!
- 「主を待ち望む」
 - すべての希望を主に置け!



待ち望め主を
雄々しくあれ
心を強くせよ
待ち望め主を